

平成 23 年度本校卒業証書授与式

が行われました

平成 24 年 3 月 1 日（木）、平成 23 年度昼間部第 17 回・夜間部第 35 回・通信制第 32 回の卒業証書授与式が、本校体育館にて開催されました。

本年度の卒業生は、昼間部 60 名、夜間部 52 名、通信制 123 名の計 235 名です。今年度の最高齢は、通信制で学ばれた 66 才の方です。

ト部校長から、各課程・各科の代表者に卒業証書が授与され、その後の式辞では、「皆さんを待ち受ける社会は決して平坦な道のりではないが、これまでの努力以上に、厳しい時代に立ち向かっていく精神力が必要」であること。また、アップル社の創業者の一人であるスティーブ・ジョブスの『新しいことを始めるときに一番大切なことは、それを成し遂げたいという情熱です。成功と失敗の一番の違いは途中であきらめるかどうかです。必要なのは情熱です。』の言葉を引き、「新しいことへの情熱と挑戦し続ける強い意志」を持ち、「待ち受ける荒波に果敢に立ち向かっていくこと」への期待が語られました。

送辞では、在校生を代表し、夜間部 2 年の白石晋太郎君が、数々の学校行事での先輩達との交流を通じた思い出を振り返るとともに、「これからの先輩方の行く先には幾多の困難が待ち受けているかもしれません。しかし、そのようなときこそ、この中央高校で培われた『自立』心を糧に強く自分を奮い立たせ、諦めることなく何事にも『誠実』に、そして、支えてくれる仲間を信頼し『協力』し合いながら、一歩ずつ歩みを進めてください。」と、エールを送りました。

答辞では、昼間部・夜間部・通信制の各代表が、それぞれの課程での行事や友人達とのふれあいや高校卒業後の抱負を語りました。夜間部代表の溝田志穂さんは、在校生に対し、「皆さん達は一人ではない。多くの方が皆さんを支えてくれていることを忘れないでください。」と語りかけました。

式後には、各クラスで最後のホームルームが開かれ、3 年間生活を共にした仲間達との別れを惜しみつつ、お互いのこれからの活躍を誓い合いました。

当日は、あいにくの冷たい雨が降りしきるなか、御来賓及び保護者の皆様には、御出席をいただき誠にありがとうございました。

今後とも、本校の教育活動に対し、温かい御支援と御協力をお願い申し上げます。



卒業証書授与 夜間部普通科代表 長田颯太君



卒業証書授与 夜間部商業科代表 西野一希君



校長式辞 卜部篤志校長



在校生送辞 白石晋太郎君（夜間部2年）



卒業生答辞 夜間部代表溝田志穂さん



3A ホームルーム風景 思わず、担任の目から大粒の涙が・・・。



3C ホームルーム風景



みんなのこれからの活躍を祈っています！